

ごみ減量アドバイザーQ&A



Q1：どうしてごみ減量アドバイザー必要なのですか？

小諸市では、近年、排出されるごみの量が増加しています。新しいごみ処理施設『クリーンヒルこもろ』を大切に永く使うためにも、ごみの減量と分別の徹底が求められます。

そこで、市民の目線で減量や分別の必要性、方法などを市民の皆さんにお伝えしたり、ごみに関して分からないことなどを聞き取ったり、市へ提言したりしていただく「ごみ減量アドバイザー」を平成27年度から設置しています。

Q2：どんな活動をするのですか？

まず、アドバイザー養成講座で基礎的な知識を学んでいただいた後、市民向けの回覧や啓発資料の作成、出前講座での説明などを行っていただきます。

① アドバイザー養成講座

小諸市のごみ処理の状況、ごみの分別・減量の方法や効果など基礎的な事項について学習していただきます。（4～6月に5回を予定）

② アドバイザー会議・啓発資料等の作成

講座の学習を基に、市民の皆さんにどんなことを、どの様に伝えたらよいか考えながら、回覧や掲示物などの啓発資料を作成していただきます。

また、市役所で作成するごみカレンダーや資料などにアドバイスをいただくこともあります。



クリーンヒルこもろ見学会の様子

③ 出前講座

区や団体などを対象とした出前講座で、市民の皆さんにごみの減量や分別の方法や効果などについて説明いただきます。また、クリーンヒルこもろの見学者（小学生の社会科見学や各種団体）にも啓発資料などを使いながら、減量化について一緒に考えてもらいます。

Q3：衛生委員さんとうどう違うのですか？

各区の衛生委員さんは、区の役員として区内のごみ集積所の管理や区内清掃などの環境美化活動にご尽力いただいています。ごみ減量アドバイザーは、市長からの委嘱を受け、養成講座を受講して基礎知識を身につけた後、地区や団体の会合などの場で出前講座や意見交換など減量や再資源化に特化した活動を行います。どちらか一方ということではなく、衛生委員さん、ごみ減量アドバイザーの両方が機能することで、ごみの減量や適正なごみの排出につながると考えています。

Q4：衛生委員の経験やごみに関する知識がなくても、アドバイザーになれますか？

アドバイザーは、講座で基礎的な知識（ごみ処理の流れ、分別、小諸市のごみ処理の特徴、課題、減量ノウハウ）を学んでいただいたり、出前講座の様子や施設などを見学いただいたりする養成期間を経てから活動をスタートします。

また、先輩のアドバイザーも一緒に活動しますので、ごみに関する知識のない方でもご応募いただけます。

わからないことなどは、アドバイザー会議の場で、アドバイザーさん同士が相談しあったり、市の担当者と意見交換したりすることができます。

Q5：どのようなスケジュールになっていますか？

概ね以下のように予定しています。

活動等の内容	29年度				30年度			
	4~6月	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
アドバイザー募集				4期 ●				5期 ●
養成講座（基礎知識）	委嘱(5回) ←→				委嘱(5回) ←→			
アドバイザー会議	●	●	●	●	●	●	●	●
啓発資料作成		←→				←→		

※このほか、出前講座やアドバイザー会議で決定して行う活動などもあります。